

3月号  
平成14年 [2002]  
No.763

# 県民の友

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎073(432)4111 http://www.wakayama.go.jp/

2面 政策に関する世論調査  
税金特集  
3面  
4~5面 クイズ「ふるさと和歌山」基礎知識  
6~7面 お知らせ／同和連載  
8面 わかやま北南海NEWS  
発行／和歌山県知事公室広報室

## 和歌山県の 国際交流

世界が広がる近づく  
おもしろくなる

大量的のものや情報、人ととの交流が盛んになって、「外国人が以前ほど遠く感じられなくなりました。和歌山県内に住む外国人の数も増え、出身国や来県目的などが多く化しています。今後は外国人からの観光客の増加も予想され、国際化は私たちの生活に「近く」身近なことになっています。

県では、山東省（中国）・ビレネー（オリエンタル県）（三重県）、フロリダ州（アメリカ）、シッコロア州（メキシコ）、ガリシア州（スペイン）と友好姉妹提携を結ぶなど、友好親善を目的とした国際交流を進めていますが、最近は、世界の国々から農業やサービス業など様々な分野で多くの人が効率的に来るなど、人材育成や技術移転等を目的とした国際協力を通した交流へと発展してきています。

また、県民の皆さんの国際交流・国際理解を進めるために様々な講習会やイベントを開催したり、県内の中・高等学校に英語を母国語とする人を指導助手として配置し、子どもたちの英語教育を推進するとともに、国際感覚も養っています。

問い合わせ  
県庁文化国際課

☎ 073(46)2054



キンバリー・パンチさん（ニュージーランド）は、志賀川高校で英語の指導助手として1年間の英語の授業を担当しています。「生徒たちと仲良くなれることは楽しいです。どちらに来る前から、もともと日本に興味がありました。和歌山は景色がきれいで、大好きです。」



魯成岩さん（中国）は和歌山市内の企業で研修中。「ホームページの作成や電子政府について勉強しています。和歌山での生活は日本語が難しくて大変ですが、和歌山の人は親切で温かいので生活しやすいです。」



日本文化理解講座「生け花」（国際交流センター）  
生け花の歴史や道具の使い方のほか、日本人の心も学んでいます。「誰に生けるだけないので、とても嬉しい。でも、どんどん楽になります。」



船羽オラさん（メキシコ）は和歌山市内のホテルで研修中。「日本食に興味があります。メキシコにある日本食のレストランが自然違うので、本場の日本食を学ぼうと毎日が忙っています。職場の皆さんも仲良くなっています。」



クリーンアップ和歌山 民衆と県内在住の外国人と一緒に海岸のゴミ拾い、互いに交流を深めながら地元環境保護を考えました。（和歌山市・浜の宮海水浴場）



## 県国際交流センター

県内の国際交流や国際協力の拠点として、外国人が訪れるやすくなりやすい和歌山づくじに取り組んでいます。

■場 所 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ要8階

■開館時間 10時~18時30分

■休館日 日・月曜日、祝日、年末年始

### 相談カウンター

県民からの国際交流や国際協力に関する相談、外国人からの生活相談を受け付けています。

■火・木曜日13~16時、土曜日10~16時

■事前予約必要

■対応言語 日本語、英語、スペイン語

☎ 073(435)5240、FAX 073(435)5243

# 『県政に関する世論調査』の結果をまとめました

## 県政への関心度

### 県政について知りたいこと

関心がある人は6割弱

地域別で見ると、「関心がある」人が6割を超えており、横木圏域、田辺圏域、新宮圏域となっています。性別・年代別で見ると、男女とも年齢が高くなるほど関心度が高くなる傾向にあり、「関心がある」人は男性の40代以上と女性50代で6割を超えています。男性20代や女性の30代以下では「関心がない」と答えた人が「関心がある」と答えた人を上回っています。



県民の皆さんの暮らしに対する意識や行政への期待などを十分踏まえながら県政を進めるため、昨年10月、県内在住の満20歳以上の男女2,000人を対象に、個別面接による世論調査を実施し、1,478人の方から回答を得ることができました(有効回答率73.9%)。

調査は、質問項目数が36にもわたる幅広い内容で実施しましたが、ここでは、定住意識や県政への関心度をはじめ、その調査結果の一部をお知らせします。

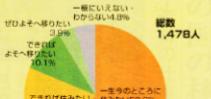
なお、県のホームページでも、その概要を紹介しています。

問い合わせ 県庁広報室 ☎073 (441) 2034

## 定住意識

定住意識を持つ人は8割強、住みたい理由は「住みなれた土地で愛着がある」

性別・年齢別でみると、男女とも年齢が高くなるほど「住みたい」と答える割合が高くなり、男性の50代以上、女性の40代以上では8割~9割に達しているのに対し、20代では男女とも6割前後となっています。



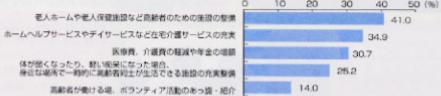
## 住みたい理由 (2つまで選択)



## テーマ別の質問と回答

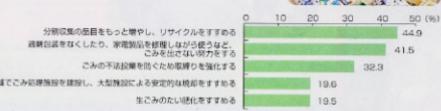
### 高齢化対策

**質問** これからの長寿社会に向けて、安心して暮らせる老後を送るために、県はどのような施策について力を入れるべきだと思いますか(2つまで選択)。



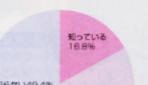
### ごみ処理の取り組み

**質問** これからのごみ処理の取り組みとして、どういったことが重要と思われますか(2つまで選択)。



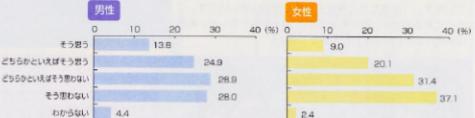
### NPO(民間非営利団体)の周知度

**質問** あなたは、「NPO(政府や私企業とは独立した存在として市民・民間の支援のもと社会的な公益活動を行う組織団体)」という言葉を知っていますか。



### 性別による役割分担意識

**質問** あなたは、「男は仕事、女は家事・育児」というような固定的な性別役割分担についてどう思いますか。

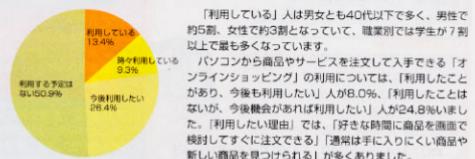


◆「そう思う」理由  
1位：男性は主に仕事、女性は家事・育児に向いているから  
2位：家族を養うのは男性の責任で、子育てや夫の世話は女性の責任だから  
◆「そう思わない」理由  
1位：家庭・育児は男女で協力してやるべきだから  
2位：男女とも仕事を持つ方がいいから



### インターネットの利用

**質問** あなたは、インターネット(ホームページ閲覧など)を利用していますか。利用していない方は今後利用する予定はありますか。



「利用している」人は男女とも40代以下で多く、男性で約5割、女性で約3割となっていて、職業別では学生が7割以上で最も多くなっています。パソコンから商品やサービスを注文して入手できる「オンラインショッピング」の利用については、「利用したことがあり、今後も利用したい」と人が8.0%、「利用したことがないが、今後機会があれば利用したい」人が4.8%いました。「利用したこと」では、「好きな時間に商品を手面で検討してすぐに注文できる」「通販は手に入りにくい商品や新しい商品を見つけられる」が多くありました。



知ろう、  
語ろう、  
和歌山の  
ツボ

# クイズ“ふるさと和歌山”

私たちの“ふるさと和歌山”が全国に、そして世界に向けて誇れるものを集めてみました。  
家庭や職場等での会話で、また県外の人と話す際の「ネタ」として使ってください。和歌山への愛着が増すこと請け合いで。

a. 答え

1. 白浜温泉(白浜町)。兵庫の有馬温泉、愛媛の道後温泉と並ぶ古湯。1300年の歴史をもち、「日本書紀」にも天皇行幸の記述あり。

2. 龍神温泉(龍神村)。群馬の川中温泉、島根の湯ノ川温泉とともに美肌をつくる温泉として有名。

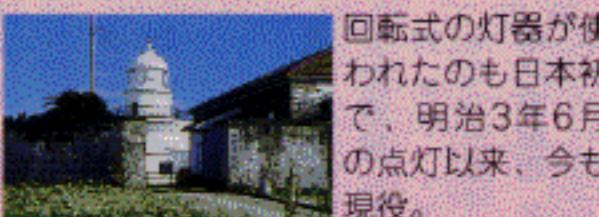
3. 北山村。奈良県が三重県を通らないと行きない飛び地で、「観光いかだ下り」やこの村でしか栽培されていない「じゃばら」で有名。



4. 記州鉄道(御坊市)。JR御坊駅から西御坊駅までの約2.7kmを、途中3つの駅に停まりながら約8分で結ぶ。学門駅の切符は受験生に人気。



5. 横野埼灯台(串本町大島)。回転式の灯器が使われたのも日本初で、明治3年6月の点灯以来、今も現役。



6. 相生産額が多い順に、うめ(1位／由田市・南部川村)、みかん(4位／有田市・吉備町)、かき(1位／かつらぎ町)、もも(5位／桃山町)、はっさく(1位／粉河町)、いちじく(2位／打田町)、すもも(2位／かつらぎ町)、キウイフルーツ(3位／粉河町)、いよかん(2位／川辺町)、びわ(4位／下津町)。うめは実に全国の6割強のシェアを誇る。ちなみに、かつらぎ町は柿の生産も日本一。

7. キヌサヤエンドウ(印南町)、さんしょう(清水町)、カスミ草(御坊市)、スターチス(御坊市)

8. たちうお(1位)、いせえび(2位)、むろあじ類(3位)、あゆ(天然4位・養殖2位)。たちうおは有田市が日本一。いせえびは、名前は「伊勢」だが漁獲量は三重県を上回ることが多い。勝浦漁港(那智勝浦町)は、近海でとれる生鮮マグロの水揚げ日本一。

9. しょう油。鎌倉時代に興國寺(由良町)の開祖・覚心が中国から伝えた徑山寺味噌の製造過程で出る液汁をもとに初めてつくられ、江戸時代には「湯浅たまり」として船で江戸へ出荷された。ちなみに、カツオ節も印南町が発祥の地。

10. 大地町。戦国時代が終り平和になった江戸時代の初期に熊野水軍が寄寓し、一大捕鯨基地となつた。同町には世界で唯一の「くじらの博物館」がある。

11. 橋本市。高野山の竹を材料に、作業の一つひとつに職人芸が生かされたヘラ竿は芸術品と呼べるほど美しく、また50年以上も長持ちする。

12. 海南市、野上町、美里町など。古くからヤシ科の植物シユロを使った檜、ホウキ等の産地だったこの地域は、戦後、ナイロン素材を取り入れながら和雑貨産地として発展。海南市は室町時代に起源をもつ紀州漆器の本場でもある。

13. 高野口町。周辺も含めこの地域は、全国の約80%を生産。バイル織物は肌ざわりがよく伸縮性・保温性に富み、傷みにくいという特長がある。

14. 記州備長炭。

火力が強いえに火も

ちが良く、うちわで火加減も容易にでき

る備長炭は焼物を扱う料理店等でひっ

ぱりだこ。県木ウバメガシ等を材料に、

土と石で作った窯で焼き上げる。た

たくとキンキンと

金属音がするのが特徴。

15. 德川頼宣。家康の第10子として生れ、1619年、徳川御三家の一つ紀州藩55万5千石の初代藩主となる。吉宗は第5代藩主で、1716年に第8代将軍となり「享保の改革」を実行して幕府財政を立て直し、い後、第15代の慶喜を除き将軍職は紀州系で占めた。

16. 陸奥宗光(1844年、現橋本市生まれ)。幕末には、海援隊で坂本龍馬らと共に活躍した。

17. 佐藤春夫。「空青し、山青し、

海青し」で始まる「望郷五月歌」な

ど故郷を想う歌を数多く残した。

また、同じ新宮市

生まれの東くめは、

童謡「鍋ぼっぽ」をはじめ「お正月」

「體のぼり」、「雪や

こんご」などの作詞で有名。

18. 芳沢あやめ(1673年、現中津村生まれ)。芸談「あやめぐさ」は今も女形の經典とされている。

19. 華岡青洲(1760年、現那賀町生まれ)。歐米のエーテル麻酔より40年も早く、曼陀羅華(朝鮮アサガオ)を主要とした

さまざまな流派の柔術を極め、

「合氣道」を創始したのは?

20. 「福爾ムの火」で有名な「耐久舎

(現耐久高校)の創設者とは?

21. 動物・微生物学者であり、

柳田国男と並ぶ民俗学の創始者とは?

22. 沼田

23. 南方熊楠(1867年、現和歌山市生まれ)。20歳から14年間吹米に渡り、イギリスの科学雑誌「ネイチャー」等に数多くの論文を発表し、世界の学者に「日本にミナカタアリ」と言わせた。帰国後は現田辺市に住み、熊野の森を中心につらぎや櫻花植物の研究に没頭するとともに、神島の天然記念物指定をめざすなど自然保護にも尽力した。

24. 知らう、語ろう、和歌山のツボ

25. 熊野三山(高野山・熊野速玉大社・那智勝浦大社)

26. 高野聖(高野山)。

27. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

28. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

29. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

30. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

31. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

32. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

33. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

34. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

35. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

36. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

37. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

38. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

39. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

40. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

41. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

42. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

43. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

44. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

45. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

46. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

47. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

48. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

49. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

50. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

51. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

52. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

53. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

54. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

55. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

56. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

57. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

58. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

59. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

60. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

61. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

62. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

63. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

64. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

65. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

66. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

67. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

68. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

69. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

70. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

71. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

72. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

73. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

74. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

75. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

76. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

77. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

78. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

79. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

80. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

81. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

82. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

83. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

84. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

85. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

86. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

87. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

88. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

89. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

90. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

91. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

92. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

93. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

94. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

95. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

96. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

97. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

98. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

99. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

100. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

101. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

102. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

103. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

104. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

105. 那智勝浦大社(那智勝浦町)

</div



# わがやま.. 北南NEWS

催し

県植物公園緑化センター ☎073(62)4029

園内花の草薙展 3月 9~31日

野生ラン展 3月23~24日

桜まつり 4月1~10日 (この間は園日なし)

片男瀬公園萬葉展 ☎073(446)5553

企画展 「短歌・書・写真のハーモニー 紀伊万葉

の故郷を歩む!」 5月12日まで

万葉の調べ 3月17日13時30分~ ※事前予約必要

講演会:「紀伊万葉と私」 原廣祐夫

席上揮毫:矢萩喜孝

オーポエト等のコンサート:

米山龍介、奥野二美

お気軽に



交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月~金曜日 (東牟婁振興局 ☎0735(22)8551 水曜日を除く)

場所 岸県交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】県立交通事故相談所 3月

18日、4月11、15日 受付 13~14時 ●東牟婁振興局 3月15日、4月5日 受付 正午まで (電話予約必要)

【巡回相談】●伊都振興局 3月27日 ●西牟婁振興局 4月10日 受付 11~15時

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月~金曜日 場所 県立県民相談室

【弁護士による相談】①3月22日、24日5月 場所 岸県県民相談室 電話予約受付(3月11日~②3月25日~/各先着20人)

【移動相談】①3月25日印南町・公民館 24日11時

高野町・伏原第2会館 電話予約①日高振興局

☎0738(24)2936 ●伊都振興局 ☎0736(33)

4900へ(各先着10人)

高齢者相談 ☎073(435)5212

【常設相談】月~金曜日

【専門相談】医療、リハビリ、保険、年金、税金、

収容、住宅、法律、健康 昨日時点はお問い合わせください。

【弁護士による相談】3月15日電話予約必要

場所 港湾事務所合規相談センター (和歌山ビッグ7階)

難病等子どもの医療の相談 ☎073(445)0520

場所 黒子市立保健福祉相談センター (黒立医大附属病院2階)

受付 月~金曜日 9~12時、13~16時30分

物価ダイヤル ☎073(433)4444

物価や生活関連物資の価格動向など

平日9~17時 (土・日・祝日は休み)

教育行政相談窓口 ☎073(441)3633

教育行政についての相談やご意見の窓口です

場所 县教委教員会秘書課内

受付 月~金曜日 (祝祭日のぞく) 9~17時

一県政がわかる。納得、身近になる

県政広報番組紹介

テレビ テレビ和歌山

きのくに21 毎週日曜日9時30分~、(再) 22時~

3月17日 猫の文化を全国に ほか

3月24日 新時代の食育へ、新たな取り組み

3月31日 男女生社会の実現に向へて~県条例制定~ほか

県民チャンネル 月・水・木・金曜日 20時55分~

火曜日 21時54分~

県政フランシス 水曜日 18時~

(ニュース番組内)

ラジオ 和歌山放送

県民マイク 土曜日 10時30分~

県庁だより 毎日 11時40分~、(再) 18時~

FM CO-CO-LO 76.5MHz

ワカヤマ・エマラルド・サンシャイン

土曜日 10時~

文字放送 テレモ西日本 511号

県の国・和歌山情報 毎日 5~24時

みなたの声を私たちと一緒に



## 春を見つけよう 梅を愛でながら一句

梅の花が満開の2月11日、家族連れ等でぎわう南部海岸で俳人・豪まだかさんを迎えた梅見吟行会が催されました。県内外から梅林に訪れた人々は、満開の梅で白いじゅうたんを広げたような山々を眺めながら思い思いに俳句を詠み、国内などに置かれた盆栽を鑑賞。その後、近くにある道の駅「南部川うめ園西部」へ。その後、近くにある道の駅「南部川うめ園西部」へ。開かれた販賣部では、投句箱に加え인터넷でも受け付けられた約1,000句の中から豪まだかさんが選んだ入選作が読みあがられ、その度に大きな拍手が響き起こっていました。(南部川村)



# わがやま.. 北南NEWS

木の国・森の仕事ガイダンス・林業就業前研修  
さくらの森に分かれ林業就業前研修



「屋の雇用就業」を提出する  
和歌山県は、森林組合連合会  
会員が、森林の新規林業者  
事業育成のための「森林林業の仕  
事ガイド」として事業にあわ  
せた3ヶ所の和歌山県版ガイド  
パンツを特別開催しました。  
外からの多くの就業希望者の  
相談などを行いました。  
これらがパンツ参加者の  
うち、就業をための資格取得  
などを希望する13人がこれ  
れ新規・上級田舎 かつつきの地  
元森林組合の員の指導を受け  
た授業の皆さんには、  
講義で初めて手にするチエ  
リソーシーで丸丸太に挑んで  
いました。

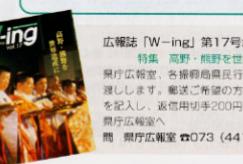
元森林組合の員の指導を受け  
ながら、寒風の下、真剣な  
顔差しで初めて手にするチエ  
リソーシーで丸丸太に挑んで  
いました。

## 万一の災害に備えて… 和歌山県災害対策訓練



県の研究では、和歌山県が大き  
な被害を受けることと想される南海地震  
や東南海地震が今後30年以内に発  
生する確率は、45%ほどと予測され  
ています。

そのため、県では海上自衛隊の  
訓練場を充少し、震源地へいたる伝  
送路を確保するための取扱いを実施  
しました。訓練を進めてきた結果、  
実施した訓練と現状に密接な連携  
体制や反応性が、現在策定中の「災  
害初期防護マニュアル」に反映させて  
います。



広報誌「W-ing」17号ができました。

特集 高野・和歌野を世界遺産に

県庁広報室、各振興局、県民行政部秘書課でお  
渡します。郵送希望の方は、住所、姓氏、  
郵便番号を記入し、返信封筒200円を封筒のうえ  
県庁広報室へ

問 県庁広報室 ☎073(441)2032

(①)小規模企業者(創業者を含む)  
製造業者を購入する個人、長期

割合(%)

40

30

20

10

0

年次

13年

12年

11年

10年

9年

8年

7年

6年

5年

4年

3年

2年

1年

0年

半期

4月

10月

4月